

利益を生み出す

2018年度 第3回実務・専門研修

## 生産現場の問題解決研修

生産性向上支援訓練・生産現場の問題解決

～5S、見える化(目で見える管理) 3ム改善を学ぶ!～

**開催日** 2018年10月23日(火)・24日(水)【2日間】  
**会場** 早稲田リサーチパーク・コミュニケーションセンター  
**開催時間** 午前9時30分～午後4時45分  
**受講料** 14,000円(税込、テキスト代含む、昼食弁当付)  
**定員** 30名  
**対象者** 若手社員、主任クラス、製造現場に配属されて間もない方  
**主催** 公益財団法人 本庄早稲田国際リサーチパーク



### 研修のねらい

**生産管理を理解し、生産現場の問題を発見、解決できる知識、技能を習得する。**

現場で発生するトラブル・ミスの原因のほとんどが「5S(整理・整頓・清掃・清潔・躰)」にあると言っても過言ではありません。本研修では、5Sの必要性を分かりやすく解説し、「自社のムダの見つけ方」、「ムダの取り方」、「マンネリ化防止策」も解説していきます。また5Sから現場改善を進める方法や、生産現場での改善方法である「目で見える管理」も合わせて学んで頂き、「生産現場の問題解決」の手法を習得します。

### この講座のポイント

**ポイント** なぜ「5S」が必要なかを分かりやすく解説。

**ポイント** 「生産現場の問題解決」の手法を習得する。

これらのテーマについて、グループ討議や事例演習を交えながら習得します。

**生産現場の改善に関心のある方は、ぜひ当研修会をご利用ください。**

### 【主催・問い合わせ・申込先】

(公財) 本庄早稲田国際リサーチパーク  
 地域振興支援部  
 〒367-0035 埼玉県本庄市西富田1011  
 TEL 0495-24-7455 / FAX 0495-24-7465  
 E-mail: seminar@howarp.or.jp  
 http://www.howarp.or.jp

(公財)埼玉県産業振興公社

(一社)埼玉県経営者協会

後援

【お申し込みは】FAX・Web・Email

裏面の「研修受講申込書」にて  
 (Webサイトからも申込可)

### 【会場案内図】

### 会場までの交通アクセス

- 関越自動車道から
- 国道17号 伊勢崎方面から
- 国道254号 児玉方面から
- 本庄市街地から
- 寄居方面から



NO. \_\_\_\_\_

# 研 修 受 講 申 込 書

「生産現場の問題解決研修」を受講したいので申し込みます。

2018年 月 日  
 (公財)本庄早稲田国際リサーチパーク  
 地域振興支援部 行  
 FAX: 0495-24-7465

- ・財団での受け付け完了後、「受付票(申込受付確認票(兼)請求書)」をFAXでお送りいたします。
- ・申込後、3日以内に「受付票」が届かない場合には、お手数をおかけいたしますが、弊財団までお問い合わせください。
- ・指定の口座に受講料をお振り込みいただきますが、振込手数料のご負担をお願いいたします。(開催7日前以降にキャンセルされた場合、受講料の返金はいたしません。予めご了承ください)

貴社名:

代表者:

所在地:

TEL:

FAX:

E-mail

事務担当者 ( )

貴社の概要		受講者の概要		
創 業		(ふりがな) 受講者氏名	男 女	男 女
業 種		所属部課 役 職		
資 本 金	万円	年 齢	歳	歳
従業員数	人	勤続年数	年	年

日 時	内 容	講 師
【第1日目】  10月23日 (火)  [午前9時30分 ~ 午後4時45分]	<b>1. 生産活動の基本</b> ・利益-QCD-4M-5S ・5Sの不良は諸悪の根源  <b>2. 生産現場の改善</b> ・5Sとは ・見える化(目で見える管理)とは ・3ム(ムリ、ムダ、ムラ)改善とは  <b>3. 生産性向上のポイント</b> ・生産性とは ・人や設備のロスとは ・生産性を管理するとは	<b>(有)コンサルティング            ベルオフィス            代表取締役            鈴木 規男 氏</b>  <b>【プロフィール】</b> ヤマハ発動機(株)にて 現場改善・生産性向上の 指導、また新工場計画立 案等の業務に従事した後、 1994年、コンサルタン トとして独立した。  現在、自動車部品、電 気、食品、化学等の企業 コンサルティング活動を 行うほか、各地の「現場 改善活性化セミナー」等 の講師として、国内外で 活躍されている。
【第2日目】  10月24日 (水)  [午前9時30分 ~ 午後4時45分]	<b>4. 現状分析とムダの発見</b> ・「ムダ」とは何か ・「現状分析」とは何か ・問題解決の流れ  <b>5. 自社課題演習</b> ・自社の改善テーマについて問題解決ストーリーの作成 (事前提出課題あり)  ※カリキュラムは変更する場合があります	

## 個人情報の利用目的のご案内

弊財団では個人情報を以下の目的で利用させていただきます。募集活動で入手した情報は、弊財団の事業で使用し、管理します。  
 ・研修やイベントなどに関する情報のご案内(送付を含みます) ・各種相談やお問い合わせに関する対応など ・受付簿の作成  
 ・研修の運営上必要となる受講者名簿  
 (※申込書にご記入いただいた範囲内で受講者名簿として講師に提出します。もし差し支えある場合には事前にお申し出ください。)